

毎月お届け！ジュークスタッフのコラムページ！

一級建築士・青木俊太郎の建築の知識が豊かになるコラム  
青木が建築を語る動画

## 旅と僕と名建築

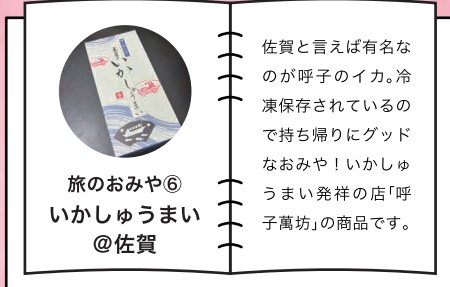


「武雄市図書館」 / 佐賀県武雄市（2000年竣工、2013年改修）

今回紹介する建物は佐賀県武雄市にある「武雄市図書館」です。佐藤総合計画が2000年に設計施工した建物をスタジオアキリ+CCCが2013年に改修し、今の形になりました。当初はシンプルな市営図書館でしたが、改修後にはTSUTAYAやStarbucksが建物内に入り、官民連携型図書館ということで注目を浴びました。建物の中に入った瞬間、コーヒーの香りに包まれたような感覚になりました。

建物の構造体である木の大梁は目を引く存在感で、その雰囲気や溶け込むように2階の本棚が壁面を覆いつくしていました。初めて入った人はおそらく空間の奥行きや天井、2階の存在感に視線を奪われて手前の雑貨コーナーの存在を認識できないかと思えます。それくらいインパクトがありました。

図書館とカフェの静と動の相対する音環境については対応が難しいのでは？と思っていましたが、そこも上手にゾーニングされていました。それが右上画像のレンガ調で囲まれた空間です。そこにあるのはすべてビジネス関連の本で、カフェとはきっちり分かれた空間で集中して調べものをしたり勉強したりできる場所になっていました。現代のニーズに沿ってアップデートされている名建築でした。



空間デザイナー・柿澤志保がセレクト＆紹介する究極のインテリア

## わたしが選ぶインテリア

今月は...  
ウォールペーパー（壁紙）

今回はGUCCIのインテリアコレクション、グッチデコールより壁紙をご紹介します。グッチはイタリア発祥のファッションブランドで日本でも知らない人はいないほど有名ですが、2017年～インテリアコレクションも展開しています。グッチを象徴するカラーリングやデザインがあらわれた家具やテーブルウェアは型にはまらないライ

フスタイルを提案しています。デコールのコレクションはどれを取ってもカッコ良いのですが、圧倒的な存在感のタイガーフェイスプリントの壁紙は痺れます！タイガーはグッチのコレクションに様々な表現で登場し、グッチのデザインを象徴するモチーフの1つです。時には大胆にインテリアを楽しむ冒険も空間デザインの醍醐味です！

GUCCIの壁紙  
タイガーフェイスのプリントはグッチの新しいデザインを象徴するモチーフ。強さや勇気さを連想させます。

Alessandro Michele(アレックスandro Michele)がデコール・クリエティブ・ディレクター。グッチのフィロソフィに基づきながらも自由な発想やディテールを表現。

デザイナー&盛岡市議・加藤麻衣が贈る知って損なしLGBTQ+豆知識

## RAINBOW NOTE

Vol.12 アライとは？

「LGBTQ+当事者ではないけれど、応援をしたい」方が存在し、心強く思います。そのような方を「アライ」と呼びます。英語のallyからきており、仲間や同盟を意味します。最近ではLGBTQ+の人だけでなく、障がいがある人、外国人など、様々なマイノリティを含んでアライと表現する場合もあるそう。様々な違いを認め合い、その違いごとに適切な支援がある公平な社会を目指して行きたいですね。そのためにもアライが増えることを願い、この連載を完了します。1年間ありがとうございました！


かとうまい公式サイト

ジュークから最新情報のお知らせ！

NEWS

矢島木材乾燥様倉庫竣工式&感謝状


秋田県由利本荘市でフローリングの製造・販売を行う矢島木材乾燥様の倉庫が11月に完成し、12/2に竣工式に参加してきました。式の中で佐藤社長より感謝状を頂く一幕もあり、大変光栄な機会となりました。



NEWS

SDGs展示会&ガチ中華体験ツアー


ブランディングと相性が良いSDGsの最大規模展示会エコプロ@東京ビッグサイトを12/8に加藤&クラブメンバーで視察。その後はテレビで話題のガチ中華@上野で世界観の詰めと感動体験を楽しむことができました。



NEWS

エコフレンドリークリスマスカード

毎年、年賀状ではなくクリスマスカードをお送りしているジューク。今年もペーパーレス化に伴い、余っているカードを再利用したクリスマスカードを作成しました。身近なことからできるSDGsの参考に！



INFORMATIONS ●12/28仕事納め ●12/29～1/3年末年始休暇 ●2023/1/16 令和4年度いわて女性の活躍応援セミナー(加藤登壇) ●2/7～9経営者EXPO「見積Dr.」ブース出展@東京ビッグサイト ●3/9・10ベンチマーク視察団@埼玉・深谷

営業・李大偉が進行中のプロジェクトのプロセスを解説

## プロジェクトマネジメント


TOP FACTORY サイト

Vol.12  
工場建設のための土地探し④

事業用地の探し方で大切なのは現地のチェックです。事業用地のエリア条件、土地の用途、インフラ整備状況、地盤強度などの条件をクリアし、候補地を絞り込んだ後は必ず現地で物件を確認します。現地確認の際のチェックポイントは下記の通りです。

- ・敷地までの経路の道路幅は十分あるか
- ・周辺で騒音、振動、悪臭などはないか
- ・明るさや日照は十分あるか
- ・既存建物の状況(解体予定の場合など)
- ・周りの建物や住宅地との距離、人通り
- ・隣地からの越境物がないか

さらに、可能であれば昼間と夜間それぞれの時間帯で現地を訪れてみましょう。通学路が近ければ、日中のトラックの往来が危険と感じたり、夜間の人通りや車通りが少ない場合は、セキュリティの強化が必要に感じたりと実際に足を運んでみて初めてわかることも多いはずです。ぜひ、目視での確認がおすすめです。



新入社員・日山莉愛が食事を軸に空間を語る体験記

## おいしい空間

今回紹介するのは山形県南陽市熊野大社敷地内にある「icho cafe」。数年前までは「いちよう売店」という名前でしたが、お店を開けてからは空き家になってくると、まちづくり団体が主導でリノベーションし、生まれ変わったのが現在のicho cafeです。カフェが地域の歴史を受け継ぎ、今では人が集まり愛される場所となっています。注目ポイントは店内から見える外の景色。大きなガラス戸からイチョウの黄色い絨毯を眺めることができ、とても幻想的におすすめです。



icho cafeとイチョウの木

店内から見えるイチョウ景色

クリエイティブディレクター・森居綾那が描くリアルタイム漫画

## 母デザイナーの子育て絵日記

3歳8ヶ月/最近のブーム...自分のピグロアスイッチをつくること



1 スキンシップが多い  
こまろの毛布に顔を埋めた

2 かわい〜お  
ごまろと遊ぶ時間...  
それとはある日のこと...

3 かわい〜お  
ごまろと遊ぶ時間...  
こまろと遊ぶ時間...  
それはとある日のこと...

4 こまろおじさんでした

最近特に仲の良いふたり

↑素直には喜ばないけど、まんざらでない顔(笑)

ブランディングに役立つ！

## 本と映画をご紹介します

ジュークおすすめ！  
BOOK



2030年:すべてが「加速」する世界に備えよ  
ピーター・ティアマンディス、スティーブン・コトラー(著)  
2020年 NewsPicks (ブリタニカ)

2021年に読んだこの本。あと10年後か...と思っていたのがあっとい間にもう2023年。買ひ物の未来、広告の未来、保険・金融・不動産の未来、食料の未来など、ビジネスにも生活にも起こる大変化が予想された1冊。新しい未来を全方位的にマッピングした世界初の本書は起業家、社長、リーダー、すべての人々におすすめです。

ジュークおすすめ！  
MOVIE

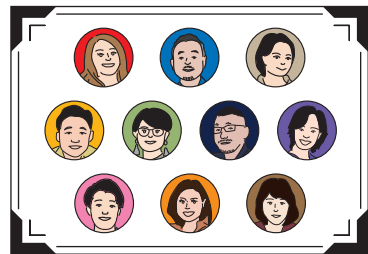
ハウス・オブ・グッチ  
2022年 アメリカ

レディー・ガガ主演で話題となった本作。100年前に高級レザーグッズ店としてイタリアで創業、家族経営で世界的なファッションブランドへと成長するも一族が崩壊。今も多くの人に愛されるブランドですが、現在GUCCIにはグッチ家の人間は1人もいません。今も褪せない魅力はまさにブランディングの強みです。



# 2022年を振り返る、ジューク3大ニュース！



1月 / 各人バケットリスト発表



2月 / DEO NOTEを書く理由



3月 / ブランディングツアー再開  
(ダイアログ・イン・ザ・ダーク@東京)



4月 / ユタカ電業関東支社完成  
(設計・空間・サイン・ブランディング)



5月 / 新入社員・日山入社



6月 / プライドの歴史を学ぶ



7月 / ベンチマーク視察団  
(SUWADA・スノーピーク@新潟)



8月 / 19大学院 開校



9月 / 盛岡市議かとうまいの活動実る  
(盛岡市同性パートナーシップ制度導入へ)



10月 / ベンチマーク視察団  
(新和金属・ONOMICHI U2@広島)



11月 / 日山参加 ルーキーク大学  
(ホースコーチング@北海道)



12月 / ブランディングツアー  
(展示会エコプロ・ガチ中華@東京)

## ①新入社員がやってきた！

今年のNo.1ニュースはこれ！4月に新入社員が入社。19マガジンでもインターン時から彼女に触れてきましたが、入社後の成長は目を見張るものがあります。ジュークはすべてにおいて実践型。「百聞は一見に如かず」を大切にしているので、新人であろうと担当としてお客様の前に立ちます。プロジェクトをドライブすることで、サポート役では決して得られないことを学んでもらっています。良いことも悪いことも含め、様々な経験と感情が人を成長させます。今後もチャンスが来たら果敢にバッテリーボックスに立って欲しいです。

社内には同期がないので、新入社員研修は外部の研修を用意。全国のブランディング企業から若手が参加し、オンライン・オフラインを織り交ぜた月1の研修です。鎌倉でビーチクリーン、北海道でホースコーチングなど風変わりな研修はジュークらしさを磨くにもピッタリ。夏には社会人デザイナーインターンを岡山県からお預りする期間もあり、県境なき同期が誕生。新しい会社の在り方としてジュークらしさに磨きがかかりました。

## ②ブランディングツアー再開

2019年12月の台湾ツアー以来丸2年ぶりにブランディングツアーを再開した今年。インプットが枯渇するとブランディングは推進できません。復活の第1弾はジュークスタッフ研修を兼ねた東京ツアー。真っ暗闇でのアクティビティを通して多様な気づきを得るダイアログ・イン・ザ・ダーク。夏にはオープンファクトリーを学ぶ新潟・燕三条ツアー。秋にはブランド力ある街から学ぶ広島・尾道ツアーを開催。普段加藤が事例で取り上げる企業、スポットを直接訪問し、ブランディング仲間から刺激を受け、自社を振り返るきっかけにしてもらいました。

クラブメンバー間の交流も増え、直接連絡を取り合い訪問し合うメンバーも。CLUBらしい交流が加速しました。次回は2023年3月に埼玉・深谷ツアーを予定しています。海外ツアーも再開したく、来年はまず下見をしてこようと思います。

## ③イン&アウト強化 19大学院を開校

「デザイン・設計は言葉だ」という会長の教えのもと、職種に関わらず

読書、発信をジュークでは大切にしています。このジュークマガジンでもスタッフにコーナーを持ってもらい丸2年。計画的に一定量の発信をする研修を兼ねています。今年はそれにプラスして各人が興味あることをテーマに研究する19大学院を開校。自身&会社の成長にはイン&アウトが必要。手書きパース、トイレ、育児書などおもしろいテーマで発信を続けています。

自由でクリエイティブな働き方と生き方を目指しているジューク。IT化、裁量労働制を設立時から取り入れ、場所と時間を問わない働き方ができます。2020年からは週休3日を採用中。松下幸之助が提唱した「1日休養、1日教養」これにジュークオリジナルで「1日発信」を加えました。SNSなど発信ツールはたくさんある現代。発信方法を試行錯誤することもブランディングには大切な視点です。休日が多いのは自分と仲間と会社のため。来年も皆の発信を楽しみにしています。

新しい風、イン&アウトの増加で今年は設計・デザイン共に新しい領域にチャレンジする機会を頂きました。来年もよろしくお願い致します。



① ジュークに新入社員がやってきた



② 全国ブランディングツアーを再開



③ 19大学院を開校

## ON-GOING PROJECTS

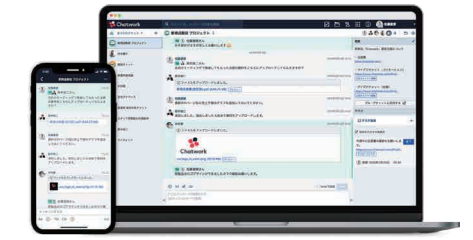
進行中プロジェクトをチラ見せ

No.12

ユタカ電業株式会社  
本社工場新築プロジェクト@山口  
山口・東京・仙台・岩手の4拠点を  
同時につなぐオンラインミーティング



オンラインミーティング（山口）の様子



プロジェクトにはChatworkが必須

山口県に本社を置く鉄道の情報通信機器製造会社「ユタカ電業株式会社」

## 設計・監理業務委託契約を頂く

以前より本社工場の新築の打合せを進めており、2022年11月1日に設計・監理業務委託契約を結ぶことができました。設計・監理はお客様のご要望をお伺いして、法規上・安全上問題の無い建物を「設計」し、その図面や設計意図の通りに現場が滞りなく進んでいるかを確かめる「監理」をする仕事です。改めてしっかりと対話を重ねながら、より良い本社建設にしていきたいです。

## オンラインを駆使した打合せ

ユタカ電業様は山口、東京、仙台の3ヶ所から、弊社は盛岡や東京など全国各地から打合せに参加しています。毎回全員が一室に会するのは難しいため、オンラインミーティングとチャットを利用してプロジェクトを進めています。オンラインミーティングは効率的ですが、一方でずっと画面を見ている疲れや音声のタイムラグなどで、いつもより時間が長引いたりストレス

が増えることが課題です。その対策として、当日使う資料と確認・決定したい内容を事前に共有することを心がけています。当日に資料を見せて説明するよりも時間を短縮できます。

## スタッフ20名様が打合せに参加

打合せの参加者が多いほど進みの遅さが出てきます。現在、各部署から数名ずつ参加して頂き、総勢20名前後で打合せをしています。「遅さ」という悪いイメージがありますが、ジュークはそこに良い側面もあると考えています。なぜならそれは本社建設だから。意見を伺うのが社長だけであれば、社長がイメージする本社を設計すれば良くて、決定権も社長にあるので進みが早い。ただ、新本社を一番長く使うのは社長ではなくスタッフの方々。自分が働く新本社だという愛着を皆に持つためにも、様々なご意見を伺いながら、より働きやすい新本社を提供したいと考えています。

## No.12 加藤の社長ブログ

Design Executive Officer

## DEO NOTE



インハウス部門の作り方を体験からお話しします

## インハウステイラー部門の作り方【前半】

今回は最初の1人となるインハウステイラーを育成したいな、と考えている経営者の方に向けて。私が最初の1人として入社してから退職する13年の間に、どうインハウステイラー部署ができて、1人→4人体制になったかを時系列で整理してみようと思います。

## 育てるなら未経験の新人の方が良い

私が前職の会社に入社したのは、官公庁の仕事を中心とした建築・土木の入札型ビジネスモデルから、企業、個人を相手にする住宅、リフォーム、一般建築にシフトしていきこうというタイミングでした。当時「広報・営業企画」という名で募集が出ており、私(大学で空間デザイン専攻)と広告代理店出身の男性の2人が中途入社しました。後から聞きましたが、営業企画・広報の応募には100名くらいの応募があったそう。なぜ私だったのか？当時の社長に聞いたところ「一番若かったから」だそうです。今までにない職種を社内で作るには経験者を選びがちです。しかし、新入社員の方が正直な考え方の癖がついていないので育成しやすい。インハウステイラーの前に「社員」を採用するという視点を忘れてはいけません。私もそれにはなるほど！と思いました。正解がないのだから共に作り上げていく方が長い目でみるとストレスが少ないかもしれません。

## リーマンショックの人員整理と

### 私の業務拡大・評価方法

しかし、リーマンショックで人員整理のタイミングがありました。相方が退職し、私は入社4年目あたりで1人に…。会議出席、協力会社とのやりとりをしていくれていた相方がいなくなったことでそこそこの業務に。相方がいなくなった不安はありましたが、代わりに広い視野と経験を手に入れました。見積りやスケジュール、企画とデザイン前後の部分にも関わるようになったのはこの頃でした。

(気になる記事の続きは下記QRコードから！) ↓



上記ブログ続きは右記QRコードからnoteで読めます →→→

